



夏の動物園 9:30~17:15 (入園は16:15迄)
10月18日まで無休

ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

高さ14mの樹木を
模した鉄塔。葉っぱの
形をしたものは雨よけ
です。はしこを3本、枝
の様に設置しています。
青空を背に、この遊具で
どのように遊ぶのか、
楽しみですね。



8/29 オープン てながざる館

旭山は夏。緑が青々と生い茂り、エゾセミやキリギリスなど、虫たちの声が聞こえてくる季節になりました。動物たちは暑さをしのいで、日陰で過ごしたり、プールに入って涼んだりしている姿が見られます。
春から工事を進めてきた、シロテナガザルの新しい施設「てながざる館」がいよいよ29日にオープンし、ここで3頭のテナガザルが暮らしそうです。どのような施設になっているのか、のぞいてみましょう。



右側の白い建物は、屋内展示施設。寒さが苦手なテナガザル。冬期間は暖房があるこの施設で展示します。中央には木をイメージした遊具があり、斜めについている黒い棒はぶら下がると、木の枝の様にしなる素材を使用しています。



水のみ場

屋外施設。壁の高い所に、棒を横に並べてつけました。テナガザルがつかまりながら移動していくと、鉄塔に渡ることが出来ます。今後、放飼場には、ロープをぶら下げます。お楽しみに！



8/9寝室でやすんでいるようです

ノシオ

おいしいそうな食材が並んでいます。正解はシロテナガザルのえさ。白菜、キャベツ、チンゲンサイ、にんじん、ピーマン、さつまいも、りんご、オレンジ、バナナ、ぶどう、ペレット(固形フード)です。大きな物は包丁で食べやすい大きさに切って与えます。野生では、木の葉や芽、果実、昆虫類を食べているんですよ。



だれのえさ？

せいのくち 生息地は東南アジア。熱帯雨林の樹上で生活しています。特徴は、手先、足先の顔の周りが白いところ。そして、長い腕。この腕を使い、体を振り子の様に振りながら、枝から枝へと移動する行動をブラキエーションといい、当園では、オランウータンもこの動きをします。その身軽な動きを観察してみてください。



シロテナガザル
学名: Hylobates lar
英名: White-handed Gibbon

ぜんぜんざいぶつかかな？
現在、絶滅の恐れがある野生動物に指定されています。なぜ数が減ってしまったのかというと、人間がペット用などに乱獲をしたり、開発のために森林を伐採し、住むところを奪ってしまったためです。遠い国に住んでいるテナガザルたちのことにも思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

8月23日で21才になるミニシロサイのノシオ。温厚で人なつこい性格で、飼育係がブラシで体をこすってあげると、気持ちよさそうにします。そんなノシオは7月22日、放飼場で突然立てなくなりました。その後30分くらいかかりましたが、自力で立ち上がり、私たちはほっと胸をなで下ろしました。体重が2トンもあるサイが立てなくなると、体の下側になった足が体の重さでしびれて、立ち上がるのが難しくなってしまうます。

ブラシがすき



現在は、立てなくなった時にできた左後肢の傷の治療を行いながら、食欲にもムラがあるので慎重に経過を見守っています。